

は石油も或は石油の臭もなく、且つ石油のあるといふ話は疑ひもなく約五寸の厚さがある石炭の薄層が掘り出された事に基いてゐたことが明かになつた。其の石炭は完全に黒色で臭を出して火に燃えたと云はれた、而して多分之は遠江の日坂附近及び越後の含油層中にある様な黒く輝いた石炭であつた。遠江の田舎の人も亦石炭と『石炭油』とを混同したことが既に明白となつた。尋いで横道をせずに予等は東京に歸着した。(未完)

新著紹介

○最近歐米地理教育の實際

仲原善忠著 明治圖書會社發行 定價二圓五十錢

地理學研究或は教育研究視察のため歐米に行つた學者、教育家は多いが地理教育だけを視察した人は僅少だろう。僅か半ヶ年の間の仕事で主な文化國の地理教育の實際を把握したのも随分前から氏がこの方面に志を立てゝ居たためと思ふ。フランス、イギリス、ドイツ、ソウェットロシア、アメリカの五國に就いて一々日本の現狀と比較し、教育史、目的、教授法、教科書、教育設備等に就き詳細に論じ、それが小學校

の一年から中等學校の最後の級まで縱にも觀察し、よく長所のみを受入れ勝ちな歐米視察者の中に、長所を賞し、短所を忌憚なく論斷するあたり實に先進國を組上に乗せる誠見に感ぜさせられる。師範、小學校、中學校の地理教育を實際に研究しつゝ行ふた人だけに此の方面の教育家の手離し難い良參考書だと信ずる。(副島)

○長崎紀聞

貴重圖書影本刊行會發行 京都便利堂出版

この刊行會がさきに貞享二年の『小竹集』を玻璃版にして複製しつぎに百萬塔陀羅尼を複製して頒布した時には別段氣にも留めなかつたが、今度長崎紀聞を原本に従つて原色版玻璃版として出版さるゝに至つて、これはと驚いた。日本紙にコロタイプをうつし、もしくは原色版を施して成功したことは世界的にも珍らしい印刷の進歩であつて、京都の田中便利堂の自慢であるが、勿論價も高い。乾坤二冊で『十圓』といふのであるけれども、何としても今日かうした尙古の和本が出たことがうれしい。

單に出版術の進歩としてこれをほめるではない、本書は文化四年頃の版行本であるが、田澤春房といふ人が、長崎に行き、其名勝や附近の山水風景等を繪圖にし且その沿革の概略を叙し、各圖に説明を加へたといふ珍本であつて、乾卷には主として出島の和蘭商館に於ける室内外の狀況及び蘭人の生活狀態を記し、坤卷には十善寺の唐人屋敷の實況をしるしてゐる。泰西文化の門戸であつた長崎の面々を知るに絶好の記

念本であるが、魯西亞武官の服裝の圖(原色版)の如き美術の外に、阿蘭陀船や、田島や生活の道具や航海器具や武器や袂時計や洋服や黒奴師等あらゆるものが、微に入り細を穿つてゐるのみでなく、數字が蘭語でかいてあつたり、紅毛人渡海

路程譯説といふ一文などがある。これ實に當時の日本の南洋航海に關係のある文書であつて、之を讀むことによつて、萬里長沙などの地名の考證も出来る、日本交通史の材料としても見逃すことの出来ない美本である。最後に申し残したが本書は久原文庫所藏の長崎紀聞によつたものである。(藤田)

○大阪地名辭彙

佐古慶三著 公立社刊 定價五十錢

大阪の人で大阪を愛する第一人者、佐古君はさきに大阪古圖の出版を爲し、其後いろ／＼の著述もあるが、今度はこの小冊子を出した。オホサカの地名凡十五種たとへば、イチヲカ、クデウ、マツシマ、センバ等著聞の地名について由來、用字、沿革、地域等いかにも明確に説明して、多くの異説を完膚なく道破してある、本は小さいけれども、大阪の歴史地理を考へる人には是非共一讀をすゝめたい。(藤田)

○地歴研究 第六の第十號

熊本地歴研究會 一冊二十五錢

第一師範の下間忠天君から送られた、同縣の自然地理學的考察や地理教育私見、新興地理教授の實際など面白い研究ものがつてゐる、特輯號であるだけに菊版六十二頁、努力の跡が見える。(下)

新著紹介

雜報

○日本第三回國勢調查速報

内地總人口六四、四四七、七二四人、世帯數一二、七〇五、八九六と報告された、大正十四年以後五年間に四、七一〇、九〇二人の増加で七分九厘の増加率をしめし過去十ヶ年に八、四八四、六七一人を増し一年平均人口増加率は一分四厘にあたる。

内地人口の密度は一平新一六九人にしてベルギーは二四五人オランダ二一一人、イギリス一八六人について第四位にあり、たゞし府縣によりて密度に不同あり、東京府は二、五二二人に達し、大阪府は一、九五二人、その他神奈川、福岡、愛知の三縣は五百人を越え香川縣ほか十二縣は二百人以上、全國平均一六九人より高きもの二十五府、縣、低きもの十八縣也。

今人口の多き府縣より之を表示すれば、

	世帯數	人口
東京府	一、一二五、七七三	五、四〇八、二六二
大阪府	七七〇、八六八	三、五三九、九八九
北海道	五〇九、七五八	二、八一二、三四二
兵庫縣	五六二、五九九	二、六四六、〇五〇
愛知縣	五二一、一四六	二、五六七、三九八
福岡縣	四九六、四四七	二、五二七、〇七九

完 七九